

## 2018 度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 7 日作成)

|                              |  |                               |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 事前復興・災害対策小委員会  |                               | 主 査 名：市古太郎<br>就任年月：2017 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 都市計画委員会  |                               | 委員長名：小浦 久子<br>主 査 名：小浦 久子     |
| 設 置 期 間                      | 2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月  |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島を含む東日本大震災を中心とした災害復興計画の検証と事前復興の方法論の検討と提案</li> <li>・ 2017 年度 福島を含む東日本大震災を中心とした災害復興計画の検証</li> <li>・ 2018 年度 復興準備策に関する検討</li> <li>・ 2019 年度 事前復興対策に関する調査・検討</li> <li>・ 2020 年度 東日本大震災 10 年に向けた復興計画・事業の検証</li> </ul> |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：有<br>市古太郎（首都大学東京）、竹谷修一（国総研）、岡田成幸（北海道大学）、池田浩敬（常葉大学）、加藤孝明（東京大学）、牧紀男（京都大学）、藤本典嗣（東洋大学）、伊藤香織（東京理科大学）、川崎興太（福島大学）、安藤尚一（公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター）、越山健治（関西大学）、澤田雅浩（長岡造形大学）、紅谷昇平（神戸大学）、樋本圭祐（建築研究所）、渡辺公次郎（徳島大学）   |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 環境都市 WG<br>福島の復興・除染事業に関する研究活動を展開   |                               |                               |
| 2018 年度予算                    | 245,000 円  | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目   | 自己評価   |
|---|--|
| 委員会開催数  | 1 回（年度内計画を含む）  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)                     |  |
| 講習会   |  |
| 催し物（シンポジウ<br>ム・セミナー等）<br>*能力開発支援事業委員<br>会承認企画 |  |
| 大会研究集会  | 都市計画委員会主催の研究協議会開催に貢献(資料集作成編集, 当日主題解説等)   |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等                        |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係)            | 設置 2 ヶ年目となる本年度は、都市計画本委員会の研究協議会の企画実施に小委員会として貢献することで、都市復興についての小委員会活動を進め、概ね目標とした成果が得られた。<br>また小委員会メンバーの多くが東日本大震災の建築学会調査報告<都市計画編>の執筆に従事した。 |
| 委員会活動の問題点<br>・ 課題                             | 1.熊本地震からの復興に関する都市計画的検討の場をつくること<br>2.関西で活躍するメンバーが多く、小委員会開催を地方開催にできないか   |

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。